

匠の技術にふれたくて
知っているようで知らない
ものづくりの現場を訪ねました。

大人の社会見学

ジナルウェア
などのデザイン、印刷、縫

世界に一つのウェアを作る 真空昇華転写プリント

先進の技術により可能となった、
オリジナルウェアの新たな印刷
この技術が人々の「絆」を繋ぐ



特殊人型インクジェットプリンターから印刷されていくウェアのデザイン



生地に転写されたウェアのデザイン。これを裁断、縫製し、形にする



真空昇華転写プリントによって印刷されたアイテムの数々

DATA

■有限会社マジック
*豊岡市日高町浅倉243 TEL.01 20-049-132
スポーツウェア、オーダーTシャツなどオリジナルウェアのデザイン・印刷を手がける。
工房見学も実施中（要お問い合わせ）

社内でのショールームに飾られた色鮮やかなスポーツウェアの数々。オリジナルウェアなどのデザイン、印刷、縫製までを一貫して手がける豊岡市日高町の有限会社マジックでは、お客さんからの依頼を受け、一点物からユニフォーム、チームウェアの制作までトータルに請け負っている。チームウェアの制作を「絆作り」と考え、より満足度の高い提案を続ける同社は近年、「真空昇華転写プリント」と呼ばれる新たな印刷方式を導入した。

デザインに、ウェアの生地を重ね合わせる。そして国内で数台しかないというプレス機にセットし圧着転写。転写紙から生地を剥がしていくと、そこには色鮮やかな模様とデザインが見事に転写されている。プレス機によって、真空に近い状態の中で生地に転写されたインクは繊維の中までしっかりと浸透する。生地の全面プリントやグラデーションの表現にも対応し、洗濯や摩擦による色落ちは皆無に等しいので、スポーツウェアなどに最適だ。

「真空昇華転写プリント」を導入した当初は、温度管理やホコリ対策などの環境整備が大変だったと藤原社長は当時を振り返る。転写の際、プリントした紙に汚れがあると、転写後の仕上がりに影響が出るため、わずかなホコリも見逃さないよう肉眼での入念なチェックを行い、品質管理を徹底している。マジックではこの印刷方式と、ポビユラーな「シルクスクリーン印刷」の方式とを併用し、お客さんのニーズに合ったフルオーダーウェアの製造を展開。各スポーツに見合ったデザインやパターンのトレンドも押さえ、縫製など全てにおいてお客さんの予想を超える仕上がりを目指している。同じユニフォームに袖を通し、仲間たちと一つのことに取り組み中で生まれる団結力。ただ印刷を施すのではない。色あせない「絆」を生み出しているマジックの仕事は、これからも多くの人々を繋げていく。



おかげさまで 20周年
マジックは今年で20周年を迎えることになりました。これも皆様のお陰と心より感謝いたしております。これからも皆様のご期待にそえますよう日々努力して参ります。どうか変わらぬご愛顧を心よりお願い申し上げます。

季節に合わせたイベントを開催中!!
卒業記念アイテムのイベントを企画予定
これまで実施したイベントです。

HAPPI de HAPPY 工場見学会
ウェディング商材 プリント体験教室
イベント期間中以外でもご相談承ります。お気軽にお尋ねください。

MAGIC 自慢のホームページも是非見てください。<http://www.magic-co.jp/>

オーダープリント マジック 検索 ACCESS MAP



MAGIC 有限会社 マジック TEL.0796-5315 兵庫県豊岡市日高町浅倉243 TEL.0796-43-2880 FAX.0796-43-2889 0120-049-132

但馬アーカイブ

2枚の写真から過去・現在・未来を探る

ちゃ やまこふん 茶すり山古墳

(朝来市和田山町筒江)



平成16年に国史跡に指定された茶すり山古墳。整備された同古墳には、埋葬施設の復元模型や堆輪のレプリカなどが設置されている。また、古墳のふもとにはガイダンス施設「茶すり山古墳学習館」があり、映像やパネルを見ながら学習することができる。



1月30日(日)まで古代あさご館にて、企画展「但馬の王墓を巡る旅」を開催中！*朝来市山東町大月91-2 (問)朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」 TEL.079-670-7330



墳頂からは2つの巨大な埋葬施設が発見された。写真は第一埋葬施設の発掘の様子。出土品などは朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」にて展示されている。写真提供：兵庫県立考古博物館

時を越えて甦った「国史跡茶すり山古墳」 近畿地方最大規模の円墳に眠る、古代但馬の王

朝来市和田山町から山東町へ抜ける玉珠峠に佇む「茶すり山古墳」。直径約90メートルの円墳で、近畿地方最大規模を誇る。北近畿豊岡自動車道建設に伴い実施された平成13・14年の発掘調査により発見され、重要な古墳として高速道路の路線を変更して保存された。

「この辺りには古墳があるといういい伝えなどが全くなかったので、発見時、地域の人々はとても驚いていました」と、朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」の中島さん。同古墳は5世紀前半に造られたもので、ヤマト政権と深い結びつきを示す副葬品が多く出土していることが特徴。甲冑や鏡、盾や矛、斧など、出土した副葬品は武器を主体とするものも多く、近畿地方中核の限られた古墳でしか出土していなかったものも見つかっている。墳頂に並べられていた埴輪も、ヤマト政権からの許可がないと造れないものだったそう。このことからヤマト政権の大王との繋がりを背景に、武力により地域を治めていたと考えられている。

その反面、山を削り出して形を整えた築造手法や、木棺による埋葬方法などに但馬地域の古墳に共通する特色が見られた。

「まずは古墳を見にきてほしい。上からは竹田城跡を見ることができません。時代は千年ほど差があるが、朝来市はいろんな時代の遺跡が集中している面白い地域なんです」と中島さん。

同古墳を始め、池田古墳、船宮古墳などの古墳や、大集落の遺跡などが多く見つかっている朝来市。丹波や播磨、山陰などを結ぶ交通の要衝であったこともあり、古代における但馬の政治的中心地と考えられている。

現在、同古墳は築造当時の姿に復元され、整備されている。墳頂からは山々や、まち並みを遠くまで望むことができる。雄大なパノラマ風景と清々しい風が心地よく、まるで大王になった気分。その場に立つと一層古代の息吹が感じられ、心が満たされる。

古代ロマンに想いを馳せながら、悠久の時の流れを楽しんでほしい。協力：朝来市埋蔵文化財センター

「古代あさご館」

折込(但馬～福知山)+店置き



生活充実フリーペーパー
まちのアレコレRecommend (レコ)
Reco.



掲載店
募集中

●クーポン券付、お楽しみプレゼント企画で誘客効果
●Reco.WEB展開中! <http://www.refree.com>

お問い合わせは
岩見印刷株式会社
0796-42-1200
info@refree.com